

令和4年度 第3回太田地域協議会会議録

令和4年9月27日

太田地域協議会

令和4年度 第3回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
(1) 令和4年度地域枠予算活用事業について	
■協議	5
(1) 彩色千輪プロジェクト全体構想（案）について	
■その他	14
■閉会	17
■署名	18

令和4年度 第3回太田地域協議会 会議録

■日 時：令和4年9月27日 午前9時58分

■会 場：太田支所 2階会議室

■出席委員：6名

水谷 仁光、倉田 吹紀子、安達 京子、高橋 英子、
佐藤 隆康、佐々木 玲子

■欠席委員：6名

小松 江里子、鈴木 賢一、藤本 重政、長澤 宏明、
熊谷 隆雄、伊藤 和子

■出席職員：8名

野中 正幸（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長）	田中 勲男（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長）	小林 崇元（東部新規就農者研修施設主幹）
太田 敬（地域活性化推進室参事）	板谷 予理子（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
(1) 令和4年度地域枠予算活用事業について
- 6 協 議
(1) 彩色千輪プロジェクト全体構想（案）について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午前9時58分 開会)

○野中支所長（以下「支所長」と表記）

おはようございます。定刻より若干早いですが、地域協議会を始めさせていただきたいと思っております。会議を始めます前に、本日は定数の半数以上の委員が出席しておりますので、会議が成立することをご報告いたします。

なお、会議録作成のため、発言の際はマイクをご使用くださいますよう、お願いいたします。それでは、会議の進行を規定によりまして、会長にお願いいたします。

○水谷会長（以下「会長」と表記）

はい、皆さんおはようございます。今日はお忙しいところ、大変ありがとうございます。稲刈りも始まったなと思ったら、皆さん本番を迎えているようで、昨日ちょっと仙北の方に行ったんだけど、仙北の方がやっぱり刈るの早いですね。もう田んぼの3分の1くらい無くなっていました。

今日は、昨年から色々な会議で意見を求められていました、読み方がちょっと難しいんですけど、「彩色千輪プロジェクト」について説明があるようなので、ぜひよろしくお願いたします。

これに関係あるかどうかわかりませんが、9月18日の新聞で横沢公園のキャンプ場が非常に素晴らしく褒められていて、かっこよく写真も載っていました。県南のキャンプ場で7回のシリーズです。それぞれの市町村で、非常に特徴ある取り組みをしております。こういったところからも何かヒントが得られるのかなという感じがしました。

それに加えて、昨日の新聞に「真木真昼の魅力を教えてください」ということで、10月22・23日に行われる「真木真昼アウトドアフェスティバル」について載っていました。真木真昼のいろんなものを体験する五つのプログラムがあるんですが、真昼山の登山、七滝山麓の森林浴、川口溪谷でのマウンテンバイクの体験、川口溪谷のノルディックウォーキング、それからモリボの里での星空観賞キャンプの中から選べるということです。主催が県ですが、ということは大仙市で知らないわけがないので、ここでも多分何らかの関わりがあると思います。興味深いのは、申し込み先が白神コミュニケーションズという能代市の法人なんですよね。県の事業ですからしょうがないと思うんですけども。例えば、こういった中に横沢公園の何かを一つ加えるとか、色々な発想ができると思いますので、後ほど説明があると思いますけども、そういったところも考えて色々お話を聞いてみればよろしいかなと思います。

それでは令和4年度第3回太田地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして、野中支所長からご挨拶をお願いします。

○支所長

改めまして、おはようございます。今、会長から色々太田についての新聞記事をご説明

いただきまして、本当にありがとうございます。アウトドアフェスティバルが10月22・23日に行われるということで、県の主催でありますけども、当然大仙市としても美郷町と一緒に関わってやっています。昨年度は美郷町の方を主体にやって、今年度は大仙市の方が主体にしてやることで進んでいる、地方創生交付金事業でございます。令和2年度から4年度まで、ちょっと惜しいところはコロナの時期とぶつかってしまったものですから、なかなか宣伝が上手くいかない、もしくは参加人数にも制限があるということで、非常に残念ではありますが、こうやって事業を進めてまいりましたので、今後とも真木・真昼県立自然公園を活用したものや、横沢公園を活用したイベントなどが広がってくるのかなど、期待しているところであります。

前回の地域協議会は7月でしたが、最悪のペースで新型コロナウイルスの感染者が増えていた時期でした。不安もありましたが、8月の始めに竿灯やねぶたなど、東北の夏まつりが3年ぶりに開催され、太田地域でも「太田の夏まつり」を3年ぶりに開催いたしました。約1,000人のお客様に訪れていただきましたが、大人のお客様はもちろん、子ども達の賑わいが特にすごかったと思います。久しぶりに街商さんもやってきて、屋台の雰囲気を感じながら夏の夜のひとときを過ごすことが、こんなにも楽しいことだったと改めて思った次第でございます。

8月の最終土曜日には「大曲の花火」が雨模様の中開催されました。残念なのは、煙が晴れないうちに打ち上げしなければならなかった花火が、審査の対象から外れてしまったことです。3年ぶりの開催で花火師さんたちも気合が入っていたと思いますので、少し残念な運営だったと思います。来年は盛大な花火が見れるといいなと思います。

それでは、前回の地域協議会以降の主な動きについてお伝えします。

1点目、先ほども申し上げましたとおり、3年ぶりに様々な夏のイベントが開催されました。感染者数はまだ増加していましたが、最近の状況を見るとピークは終わった感じにみられます。それでも大仙保健所管内が多いのはやはり大曲の花火、角館のお祭りなどのイベントが続いた影響とも考えられます。残念だったのは、お盆前後の長雨で仙北の「彩夏せんぼく」や中仙の「ドンパン祭り」が中止になってしまったことです。来年はマスクなしでイベントを楽しめれば良いなと、率直に思います。

2点目、真木・真昼県立自然公園が2030年に向けて国立公園または国定公園の拡張候補に選定され、8月に環境省職員から関係自治体に説明会がありました。6月の環境省の発表で、十和田八幡平国立公園の近隣にある、森吉山、太平山、田沢湖抱返りの各県立自然公園と一緒に選定されました。まだ可能性の段階で、今後環境省と県が方向性を検討し、関係自治体の意向を確認してからとなりますが、実現すれば素晴らしいことだと思います。ただ、悩ましいのは名称でございます。エリアとしては真木真昼は小さい方なので、大きな自然公園の一地域になってしまう可能性があります。今ある価値のあるものや体験を磨き、輝きを増すような地域の取組みが重要だと思います。

3点目、東部エリア観光ビジョンの策定業者がJTB秋田支社に決定しました。このビジョンは、大台スキー場の通年利用やあか松庵・もみじ庵の新たな活用策を検討し、仙北・中仙を含む市の東部エリアの観光コンテンツを一体的に活用して、観光客を呼び込むもの

で、来年度以降、施設整備や活用を促進する事業が進められていく計画です。委員の皆様から提案された活用案が具体化できるよう、物心両面から支援してまいります。なお、ビジョンの策定は来年1月末を予定しています。

次に、9月議会のことを報告させていただきます。8月18日に開会された9月議会では、条例案6件、同意を求める件5件、議決を求める件4件、補正予算案7件、決算認定19件が上程されました。9月15日の最終日には、8月13日に発生した大雨被害にかかる災害復旧費用の補正予算が追加提案され、いずれも原案通り可決しました。

一般会計補正予算は総額6億1,380万円の増額補正となりました。主なものをご紹介しますと、空き家等解体補助金に3,000万円、大曲駅西口民有地活用構想策定負担金に500万円、イオンモール駐車場敷地に建設が予定されている民間保育所整備に対する補助金として1億4,400万円、新型コロナワクチン接種事業として6,824万円、JA秋田おぼこの光選別設備に対する補助金に1,390万円、貨物自動車運送業支援として2,356万円、払田の柵南門再整備工事費として1,468万円、旧北島家雪害復旧工事費として1,399万円、住宅リフォーム支援事業費として1,500万円が計上されました。最終日の追加補正は8月13日に発生した主に西部地区の大雨被害に対し、農地・農業施設の復旧に2,719万円、林道の復旧に2,641万円、道路・河川の復旧に624万円が計上されました。また、令和3年度決算審査も同時に行われ、無事決算の承認をいただきました。

太田地域に関連することとしては、人権擁護委員の人事案件として、三本扇の鈴木農夫廣さんの再推薦と、金井伝の藤原瑞永さんの新規推薦が議会から同意されました。以上、9月議会の話題をお伝えしました。

さて、話は変わりますが、10月29日から大曲体育館や河川敷を会場に県の種苗交換会が開催され、初日はサキホコレのデビューイベントも開催される予定です。そのサキホコレですが、10月1日土曜日午後6時30分から放映されます、「満点☆青空レストラン」という番組で取り上げられ、サキホコレを栽培している国見の佐々木信尾さんが登場します。ぜひご覧いただきたいと思います。

最後になりますが、先ほど会長からお話のあったとおり、本日の会議の後半に、昨年から検討している横沢公園を拠点としたプロジェクトの最終案を見ていただき、みなさまから忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

本日も大変盛りだくさんですが、なにとぞよろしく願いいたします。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

次に、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。会議録署名委員には高橋英子委員、それから、佐藤隆康委員をお願いいたします。

次に、次第5「報告」に入ります。(1)「令和4年度地域予算活用事業について」、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【令和4年度地域予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【①行政主導型】

1 大台スキー場倒木撤去事業

事業目的：「大台スキー場」内の園路沿いに倒木があったため撤去、処分する。

事業団体：太田支所市民サービス課

申請額：49,500円

・実施類型【②市民協働型】

2 太田の夏まつり開催事業

事業目的：太田地域や近隣で日頃から鍛錬している団体の発表や販売の場を提供し、地域の魅力の再認識と今後の賑わい創出の一助となることを期待し、夏まつり開催を支援する。

事業団体：太田の夏まつり実行委員会

申請額：567,000円

○会長

はい、ただいま事務局から報告がありました。皆さんから質問などございませんか。

(特になし)

特に無いようですので、質疑を終わります。

なお、地域協議会は、市が決定した市民協働型、市民主導型、地域イベント応援型について、報告された内容によっては、意見を附すことになっております。今回は市民協働型2件の報告がありましたが、申請団体に対して改善を求める点などのご意見はございませんか。

(特になし)

はい、それでは無いようですので、次第5「報告」を終わります。

次に次第6「協議」に入ります。(1)「彩色千輪プロジェクト全体構想(案)について」、事務局の説明をお願いします。

○事務局

はい、「彩色千輪プロジェクト全体構想(案)について」ご説明いたします。別冊となっております資料4に基づいて説明させていただきます。

昨年の令和3年10月6日に開催されました、令和3年度第3回太田地域協議会におき

まして、「地域拠点利活用活性化事業」という案件で、太田の拠点を横沢公園に決めていただいております。今年度は、その全体構想を市長へプレゼンすることになっておりますが、本日はその案につきまして、皆様からご協議をいただきたいと思っております。本来であればもっと早く地域協議会に諮りたかったのですが、なかなか案がまとまらなかったのが本日もなりましたこととお詫びいたします。

全体構想案の策定につきましては、市長・副市長から「地域住民や専門家の意見をよく聞くように」と言われております。そこで、本日の地域協議会にお諮りする前に、太田花の会に2回、それからワーキンググループに2回、それからコミュニティ・スクールの会議でも説明をしております、色々なご意見をいただきました。それらを参考にし、本日の案をまとめました。

なお「太田地域まちづくりワーキンググループ」ですけれども、こちらは太田地域の各方面で活躍されている方に集まっておきご協議いただいたもので、観光物産協会、商工会の太田地区の理事の方ですとか、現在横沢公園を指定管理しております大曲スポーツセンターの担当、それから県立自然公園の管理員の方などにお声をかけております。地域協議会からは水谷会長からも参加していただきました。

まずは、やはり横沢公園といえば花をイメージされることが多いですので、花を体感できる公園にしたいと考えました。昨年の地域協議会におきましても、委員から「昔は水仙まつりなどをやっていたが、最近はやっていないので、行かなくなってしまった」、「以前は花が咲く時期にはそれなりの人が来ていた記憶がある」という意見もいただきました。方向性としては、「太田地域の『花と緑のまち』を体感できる公園機能を強化し、子育て世代を中心に据えた新たなイベントの開催と、心と体の健康づくりで、笑顔あふれる花と緑のまちを目指す」としてあります。そして取り組みの柱には、「子どもたちを笑顔にする場所づくり」、「花とのふれあいで豊かな心の醸成」、「スポーツで健康寿命の延伸」の三つを設定いたしました。それを実現するために、「各種イベントの実施」、「情報の発信」、それから「公園の魅力復活+1」というものを設定しております。これらの基礎となるものが、花を楽しむ公園としての「リストア（復活・復元）」と、心と体の健康作りができる公園に「リノベーション（新しい価値を加える）」することを土台としております。

次に、ハード事業・ソフト事業の具体的なものを載せております。ハード事業は、大規模なものではなく小規模な改修・改善を考えております。特別な改修というよりは、樹木の枝の剪定や古いベンチを撤去して新しいベンチを設置するなど、いわゆる見た目・雰囲気綺麗にする目的がメインとなっております。もちろん花だんの設置や写真スポットの設置など、新規のものもあります。また、バーベキューハウス関係や、ジョギングコース関係も考えております。ワーキンググループでも、「バーベキューハウスも人気があるので、そちらの方からのアプローチもいるのでは」と、先ほど会長のあいさつにもあったように、新聞にも載っており結構人気があるということでもあります。そういった意見も参考にさせていただきます。

ソフト事業でありますけれども、アジサイ・スイセンの再生と季節の花の植栽を、住民参加型のイベントとして実施することなどを掲載しております。アジサイについては、ワ

ーキンググループにおきまして、横浜公園にはアジサイが結構な数あって、手入れをすれば復活するだろうということで、「新しいものもいいが、今ある資源を活用してはどうか」という意見を参考とさせていただきました。また「その他各種イベントの開催」とごっくり書いておられますが、どうしてもイベントの開催となると、我々としては花と関連したものしか浮かびませんでしたけれども、ワーキンググループで「特に花にこだわらなくても、横浜公園を知ってもらうため様々なイベントをこの公園で実施すればいいのではないか」という意見をいただきました。もちろん、実施する内容にもよると思いますけれども、横浜公園は非常に大きな公園でありまして、グラウンドも室内練習場もありますので、こういったものを活用しながらイベントを進めたらどうかと考えました。

一例といたしまして、「ストライダー」を挙げております。子どもさんが対象の、ペダルのない自転車みたいなものなんですけれども、こういったものを実施しながら子どもたちに来ていただいて、同時に親御さんからも来ていただいて、公園のPRをしてはどうかと考えたところでございます。

次に花だんについては、このピンクの丸のゾーンから始めたいと考えています。春にはスイセンが咲きまして、お盆過ぎからはコスモスが咲くという花だんです。写真スポットとして、中央の部分には白いブランコを設置いたします。また、花の会の方からは、「スイセンとコスモスの間の時期に何も花がないのは寂しいので、その時期の花を植えてみてはどうか」というアドバイスがございました。難しいということはわかっておりますけれども、花の会等のアドバイスをもらいながら実施できればと考えております。春から秋まで何らかの花が咲いているような状況を作りたいと思います。

この花だんの規模については、事務局として最初に作った案は、この修景池の北側のほとんど全部に花を植えようかと考えていたんですが、ワーキンググループで「そんなに大規模に花を植栽して維持管理が可能なのか」、「維持管理ができないのであれば汚いだけなので、むしろやらない方がいいのではないか」という意見が出されました。また、「一気に全部実施する必要はない」、「まずは管理できる程度の範囲から実施して、やれるようであれば少しずつでも拡大していけばいい」という意見があったので、まずはこの範囲から始めようと考えております。

最後に、このプロジェクトの実施のイメージ図でございます。実際に動いてくださる主たる団体は、中心に緑の大枠で書かれておりますが、まだ（仮）となっております。こちらを中心に花の会や学校にご協力いただき、地域住民や各種団体にも働きかけて、特に植栽について実施できればと考えております。もちろん市の方としても、予算をはじめ協力をしていきたいと考えております。

以上、「彩色千輪プロジェクト全体構想(案)」でございます。全体構想でありますので、一応今のところのまとめになりますけれども、これらが全てというわけではありませぬので、実施する場合、まだまだ検討していかなければならないこと、詰めていかなければならないことがあります。去年の地域協議会におきましても、「市民が参加できるようなイベントをしていただきたい」、もしくは「花を見ながらピクニックができるような場所があればいい」という意見もありました。そのような場所になるよう、人が集まるイベントができる

ように今後も当然検討していきますし、協議会の皆さんのご意見を伺うこともあるかと思
います。

以上全体構想（案）の説明でございました。よろしくご協議をお願いいたします。

○会長

ただいま、事務局の方から説明がございました。この「彩色千輪プロジェクト全体構想
（案）について」の質問や意見、もっと聞いてみたいということがございましたら、皆さ
んよろしくお願ひします。

私の方からいいでしょうか。全体的には、こぢんまりと結構スリムになってまとまった
のかなって感じがします。そこはそれでいいと思います。背伸びしなきゃ届かないことを
やっても長続きしませんし、最初の年はちゃんと花が咲いても、次の年から全部枯れちゃ
ったでは話になりませんので、手の届く範囲内で自分たちのやれることをきっちりやる
というのが一番だと思います。

一番気になっているのが、以前の副市長さんの「太田は通過する場所ではなく、何か目
的がないと行かない場所だ」という言葉です。イベントをやるきっかけとかはこういった
取り組みでいいと思うんだけど、プレゼンをやるときにもう一つ突っ込んだものがあれば
いいと思います。私も何がいいかわからないんですけども、手っ取り早いのは写真コンテ
ストをやるとか。あまり手間暇かけなくても、写真は愛好家が撮ってくれるわけですから、
それを審査するときにそれなりの人にお願ひすればいいのかなと思います。そういったと
きに合わせて、パーベキューハウスなどを活用して、親子で来てくれるようなイベントを
やればいいと思います。何がいいのかわかりませんが、この「ストライダー」は我が
家でも使っていて、結構早いけど決して危ないものではないので悪くはないと思います。
自転車にすぐ乗れるようになるしね。これを使った子どもの大会とか開くとか。あとは、
この前どこかで失敗したという話を聞きましたけど、ドジョウを捕まえてきてドジョウレ
ースをやってみるとかね。どっちに行くかわからなくてとても難儀するようだけでも。そ
ういうものは手間暇かからなくても皆楽しめるようなイベントだと思います。そういった、
もう一味プレゼンでアピールできるアイテム、イベントで人寄せするようなものがあれば
いいのかなと私は思いました。以上です。

他に皆さんからありませんか。

○倉田吹紀子委員（以下「倉田委員」と表記）

それでは一番横沢公園に近い私から。

今年の大曲の花火の日、天気は悪かったんですけども、キャンプ場がとても賑わって
おりました。今はブームですので、普段から時々利用している人もいるんですけども、や
っぱり花火の日はそういったお客さんがかなり利用されておりました。つい先日、あるおば
あちゃんが「久々に公園が賑わっていて楽しかった。雨だったので花火には行かなかった
けれども、ここにも人が来てるんだな」ということを話しておりました。この辺りには宿泊
施設がないし、今はアウトドアがブームになっていますので、そういう部分は私たちも考

えていく時期にいるのかなと改めて思いました。

資料の「リストアー」という部分ですけれども、私たちのときも、子どもが小学校のときも、あの池はイバラトミヨが住む綺麗な池だということで、子どもたちが研究をして色々発表したことを思い出しました。管理できる範囲で、できることからという、この計画はとても賛成です。昔は、あの公園に小さい子どもからお年寄りまで、シートを敷いて座ったりして、周りにも色々あるのにあえてあそこに集まったなということを出してありますけれども、そういう元の状態に戻れるならばすごくうれしいことだなと思います。

それと合わせて、やはり太田は花とスポーツのまちと、どこに行っても言われるんですけども、そういう部分に着眼点を当ててもらったことは良かったと思います。それともう一つ、学校のCSに関わらせてもらっているのも、校長先生たちに呼びかけてもらったことはとてもうれしいですが、会長さんからもお話のあったストライダーが1歳半から5歳が対象ということであれば、ぜひ保育園にも呼びかけてもらえればうれしいです。私も当時、保育園で年長さんを連れてよくこの公園に散歩に来たり、本当に色々活用しました。今も多分していると思うんですけども、安全性とか熱中症とか色々あると思うんですけども、のびのび園やすくすく園の方にも「ぜひ親子で出向くことがあれば」ということでPRするのはどうでしょうか。やっぱり「子どもたちの笑顔」ということであれば、小学校になってしまうと色々目的とか意識が違ってきますので、ベビーカーやちっちゃいお子さんが見られる公園ってちょっと想像しただけでも楽しいかなと思います。以上です。

○会長

はい、他に何かございませんか。

○高橋英子委員

やっぱり太田は「花のまち」ということで、1回新聞にのるとお客さんがすごく来ます。この前も南小神成の後藤先生の花だんが新聞に載ったので、本当にお客さんがたくさん来たんですけど、そこだけを見て帰るんじゃなくて、やっぱり地域の中にも入ってきました。花だんの方はいいんですけども、そういった人の目があることによって、ハウスとか家の周りを汚くしていると、草刈りとかミョウガの葉っぱを刈ったりしなきゃと、働きに行っているときは全然そんなことを考えなかったんですけど、今年はすごく感じました。私たちよりちょっと年配の方が、旦那さんと二人で来ていて、車がたくさんとまっているのをよく見ます。

この案にある花だんも、花の会の人たちとも話し合っただけで決めたとは思いますが、公園で大々的にちょっと有名なガーデニングの先生を呼んで、ガーデニングの大会とかを開いたりすれば、すごく人も集まると思います。そういうお母さんたちって、本当は自分でもやれるんでしょうけども、ちょっと有名な先生が来て、花も全部用意されていれば、そういう人たちはお金に余裕もあると思うので楽しんで来てくれると思います。今はあちこち旅行もできないので。花の会でもやっていると思うんですけども、あれっていつも同じ人が行っているイメージで、人数にも限りがあると思うので、そういう風に公園でやれば、市

内からだけでなく市外からも来てくれると思います。

あと、ちょっと残念だったのが、あそこは菖蒲もあったんですが、今はなくなってしまったんですよね。前は菖蒲がすごくいっぱいあって、黄色のスイセンと紫の菖蒲が綺麗だったと思うんですけども、そこまでやってもまた手をかけられなくなってダメにするということを繰り返してしまうので、やっぱり小さなことでも継続することがお金も無駄にならなくていいことなのかなと思います。また振り出しに戻ったような感じなんですけれども。資料にも載っているふるさと村とかブルームッセみたい、大きい建物を建ててだんだん花だんも大きくしていくようなところと違って、元々ある公園なので、まず市民の皆さんに参加していただきながら、広げていけばいいのかなと思います。

○会長

他に皆さんございませんか。

○安達京子委員

はい、安達です。先ほど会長さんや倉田さんの方からお話あったんですけども、今はコロナでどこにも行けない状態が続いていますので、キャンプが若い人も私たちぐらいの年代でも結構流行っていると思います。身近でもキャンピングカーを購入して都会の方からこっちに来ている方もいます。この前の新聞を私も見ましたけれども、せっかくこういう良い場所があるのですから、新聞で県内では知れたと思いますが、PRすることも大切ではないかなと思います。秋田県は良いものがいっぱいあるのに、PRが下手だという感じがしますので、そこら辺も考えていかなければならないのではないかなと思います。

それとこの案についてですけども、イベントで人を集めるのも必要かとは思いますが、先ほどからお話に出ているように、まずは地元の住民が楽しめるような公園にしてもらいたいです。お花があると、ただ歩くだけでも結構良いコースになると思います。太田は歩道がほとんどないので、道路を歩くと危険で、私も散歩していると大型トラックにあおられたりすることがあるので、中高年が安全に散歩できるようなコースとしても活用できるんじゃないかなと思いました。なので、イベントと合わせて、地元住民も楽しめるような場所に、皆でしていければいいのではないかなと思います。以上です。

○会長

佐藤委員、何かありませんか。

○佐藤隆康委員

それでは一言。この健康遊具っていうのがすごく魅力的だと思いました。健康遊具があれば、それを目的に散歩やジョギングをする人もどンドン現れるんじゃないかと思います。景観を良くするには、手入れが簡単なアジサイとかスイセンとか、さっきお話のあった菖蒲はかなり増えるので、あれももったいなかったなと思います。散歩となれば、当然ベンチも必要になってきます。ベンチってどこに行っても壊れたものしかないような気がする

ので、最初からちゃんとしたものを設置した方がいいと思います。場所も葉っぱがかからないようなところとか、あまり邪魔にならないようなところがいいと思います。私も年を取って時間があつたら、こういう場所をゆっくり散策したいと思いますし、夏の昼の暑い時とか「ちょっと休みに行ってみたいな」と思えるような、そんな場所になってもらえればありがたいと思います。以上です。

○会長

佐々木委員は何かありませんか。

○佐々木玲子委員

佐々木です。皆さんのお話を聞いていて、最もだなと思うところがたくさんありました。あとさっき倉田委員も言っていましたけども、ちっちゃい子どもたちが遊んでいる姿っていうのは、本当に周りの大人は他人でも笑顔になったりしますし、ちっちゃい子が集まれば、必然的に大人も集まってくると思います。例えば保育園の子どもたちのお散歩コースでもいいでしょうし、お弁当を持って行くとか、祖父母参観日のときにおばあちゃんやおじいちゃんたちと手を繋いで行って、おやつを食べて遊ぶとか。子どもたちって一度行って楽しかったなと思えば、家でも「あそこに遊びに行きたい」って言うことがあります。そうすればその行事のときだけでなく、家族でも「じゃあまた行ってみようか」ということもあります。近いですし、屋外なのであまり感染対策を気にしなくてもいいので、のびのび遊べるんじゃないかなと思います。

あとジョギングコースの案内板ってあるんですけども、たくさんの人に来てもらうには、まず知ってもらわなければいけないんじゃないかなと思います。町の要所要所に、横浜公園の案内板を、例えば「バーベキューできます」とか、「キャンプ場あります」とか、「この時期はこんな花が咲いています」とか、パッと見て「入ってみようかな」と思うような案内板と、あとは道のところどころに「横浜公園はこちら」って矢印がついたようなちっちゃい看板もあればいいと思います。そうすれば「ちょっと行ってみようかな」と思えるし、途中で迷子にならないと思いますので、ぜひつけてほしいと思います。この前の新聞で後藤さんの家の花だんが載ったときも、農協の方にも、どこから来たかわからないんですけども、年配の女性2人が「どう行けばいいですか」と聞きに来られました。やっぱり遠くから来る人も、案内板などがあれば迷わずに行けていいんじゃないかなと思いました。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。本日参加の委員の皆さんから意見をいただいたと思います。

話を戻して大変恐縮なんですけども、新聞に載っていた「県南キャンプ場めぐり」の7回の中で、一番充実しているのが東成瀬なんです。大したものですよ。何も持たずに行けるんですよ。布団まで貸すし、シャワーも風呂場も洗濯機もあるんですよ。食べ物は自

分で買っていかなきゃいけないけども、それ以外はほとんど用意されていました。多分、シャワーは水じゃなくてお湯が出ると思うんだけど。こっちの方でもそれを全部やるというのは無理ですが、ピンポイント的にですがシャワーが使えるというのはやっぱり魅力だと思います。

それからさっき倉田委員が言ったように、大曲の花火の時に大変利用して下さると思うので、これから口コミでどんどん来ると思うので、逆に花火を打ち上げるんじゃないかと。利用者に横手市でもやっている線香花火でもあげればいいんじゃないかと思います。そうすれば、その日の晩やるのか、いつやるかはわからないけど、「線香花火を楽しんでください、大きいものじゃなくて小さいのもいいですよ」くらいにして、予約の時に「ここに来れば線香花火もらえますよ」としておけば、手間暇かからなくて済むのかなと思います。

いずれ、キャンピングカーサイトも作らなければいけないと思います。キャンピングカーじゃなくてもいいんだけど、今はみんな車にものを積んでいて、その中に電気器具なんかも入っている人もいると思うので。車に電気がついているといえそうなんだけど、例えば東成瀬では電気を販売するんですよ。コインを入れると炊飯器が炊けるそうです。だから、そういうのがいいのかわからないけど、やれることをやるのがいいと思います。

あとは、マスコミを使うことだと思います。どんなことでもいいから、とにかく発信して「こういうものがあるので書いてくれ」って、どこでもいいですから記事を書いてもらおうという。お金をかけずに宣伝するにはそれが一番だと思います。先ほど高橋委員の方から後藤先生の花だんの話が出ましたけども、おかげさまで田の尻の花だんにも、相当人が来ます、大変なくらい。そして南小神成と北小神成と三つ周って行きます。だから後藤さんの家では人が立っていて、後藤さんと二人で一日いっぱい立ちっぱなしです。そういうことなので、マスコミの力って大きいものなので、「マスコミの活用」という項目も加えていただきたいと思います。

他に皆さんからごさいませんか。

○倉田委員

すいません、ちょっと今思いついたことなんですけど、資料にテーブルの写真が載っていますよね。テーブルと椅子が合体しているものなんですけども、昔地域の何とかでそれぞれの学校に国からお金が出たときに、小学校でテーブルを作ったことがあったんですよ。それが真っ黄色で、中にキャラクターとかいろんなものを書いてあって、とても楽しいテーブルで、このような形でした。幼稚園でも2個もらったけど、今は無いのかな。緑の中にお花みたいな、楽しいテーブルがポツとあればいいなと思います。例えば、情報センターの壁面は、多分当時親子で絵を描いたり、色を塗ったりしたと思うんですけど、いまだにあそこに飾ってあるのを見ると「ふるさと」を感じるんですよ、親にとっても。そのテーブルは捨ててはいないと思うんですけど、もしあったらちょっと置いてもらえれば、華やかで楽しくなると思いました。

○支所長

色々なお話をありがとうございました。さきほどお話があったとおり、「まちづくりワーキンググループ」などを開催して様々な人からご意見を聞いてきました。その後、我々も全く他の公園を見ていないとまずいということで、小泉瀉公園、秋田市の大きい県立公園ですけれども、それからブルーメッセ、よくニュースにも出ていますけれども、ふるさと村は最近フラワーパークが整備されましたから、そういったところは見て歩いてきました。ストライダーという案が出ましたが、これは小泉瀉公園で取り組み始めたことを参考にしました。広い芝生のあるところで、子どもたちも転んでもあまり怪我を気にしないでいいということもいいと思って取り入れました。

それからキャンプ場について、水谷会長から色々なご指摘やお話がありました。当然、ワーキンググループの中でもキャンプ場の活用については話がありました。「シャワーをつけた方がいい」とか、バーベキューハウスの前の駐車場が汚くなっているの、「きちんと芝生を張ってほしい」とか「キャンピングカーで入れるように電源を設置してほしい」という話があり、非常に参考になりました。

あと今、倉田さんの方からお話がありました。ちょっとしたことなんですけど、やはり子どもたちが描いた絵があると親も見に来るんですね。楽しいアイデアだと思います。皆さん新聞などで見たかもしれませんが、大曲の花火の際に川のほとりの「喜代」のところに中仙中学校の生徒が壁に絵を描いて、非常に話題になっていました。なので、同じ場所でも、ただの真っ白い壁じゃなくて絵が描かれているだけでちょっと光が当たるところになっています。それと、若い人たちには「写真映え」がするものが人気なので、SNSなどに載せてもらえるような、色々な花と一緒に白いブランコで写真を撮れるという場所を設置したいと思い、計画をしています。

市長プレゼンの際には、もう少しイベントの中身やお金の面をもう少しきっちり出さないと、市長に「まだこれだけしかできていないのか」という評価をいただいてしまいそうなので、まだ3週間くらいありますので、その点はもう少し精査していきたいと思っています。今日のお話も非常に参考になりました。本当にありがとうございました。

○会長

一つ思い出したんですが、角館の花葉館にゲートボール場とグラウンド・ゴルフ場があるんですよ。そこに学生たちが実習でベンチなどを作りに行っているんですよ。自分たちで切ってきたものを持って行って、設計図通りに組み立てていました。表彰台とかテーブルも作ってました。そのわきにベンチを木で作っていくんですが、一回で全部やるわけではなく何年もかかってやっていて、最近完成したようです。今設置するベンチはそれでいいとしても、それ以外にもイベント的に、地域の小中学校ばかりではなくてそういった学生などの力も借りながらやっていくのも一つの手じゃないかなと思います。あそこでできてこちらでできないわけではないと思うので。面白そうなので、公園もかなり広いのでぜひやってみたらいいと思います。結構しっかりしたものも作っています。

それと、とにかくちょっとした取り組みでも、とにかくマスコミに流すことです。お金がかからないですから。それをやれば、「こういうことをやっているんだな」という、確実

に知名度アップになると思います。小さな記事でも皆見てますから。そういうこまめな情報発信が必要だと思います。以上です。

他に皆さんからございませんか。

○支所長

それでは公園の担当から。

○田中中仙・太田建設水道事務所長

皆さんから横沢公園に関するお話を聞いて、やっぱり皆さんかなり注目して、魅力を感じている施設だと感じております。我々としても、施設ができたあかつきには、きっちり維持管理というのが必要だと考えておりますので、この事業について上の方に申し合わせて、持続可能な施設ができることを目指して進めて参りたいと思いますので、今後ともよろしくご協力をお願いします。

○会長

それでは、協議（1）を終わってもよろしいでしょうか。

次に、次第の7「その他」に入ります。委員の皆さんから何かございますか。

(特になし)

私の方から一つお知らせ願いたいんですけど。年度初めに、太田支所の予算特集号をいただきました。その中の「太田四季の村管理費」の中で、グラウンド・ゴルフ場のところの遊具を更新するという話があったんだけど、もうお盆も過ぎて9月も終わろうとしているのに、何ら手が付けられていません。あれって一体どうなったんですかね。教えてください。

○藤澤市民サービス課長

はい、今会長がお話ししたとおり、予算はしっかり付いています。それでですね、いざ設計して見積もりを取りましたところ、最近の資材高騰だとか、諸物価の高騰によりまして、大幅に予算が足りないということになりまして、6月に800万円を追加補正しまして2,800万円にしました。その後、色々市長・副市長や関係者と協議をしまして、遊具を選定しました。しかしまた、色々な資材の高騰だとか、再度見直した結果、工事費とかも上がっておりまして、このままでは難しい状態になりました。そこで我々も再度どのようにして遊具を設置したら一番いいのかということを考えまして、再度いろんな業者から見積もりを取りまして、今方向性が決まり、10月の契約を目指して頑張って書類を作っているところです。

結構大型な遊具なもので、設置工事もかかりますので、10月か11月に契約しても当然雪は降りますので、そのころは工事もできないということで、雪解けを待って3月末に

は完成して、来年度の4月からは使えるようにしたいと思っております。本当に皆様には心配をおかけして申し訳ございませんが、きちんと年度内に行いますので、どうかご理解いただきたくよろしくお願いいたします。

○会長

理解はしたんですけど、これは住民に対して約束したことですよね。だとすれば、どういう説明をするんですか。今の説明に尽きると思うんだけど、もっと早くできなかったんですか。「コロナなどで相当お金がかかって、補正予算を組まなきゃいけないって、今年中にはできない。来年の春にならなきゃ使えない」って、やっぱり教えなきゃいけないと思うんですよ。そこら辺、何か一歩足りないような気がします。「こういうわけでこうなります」と言うだけで皆理解すると思うので、何とかお知らせするようにした方がいいと思います。

○支所長

はい、ありがとうございます。まず、内部的なことは今市民サービス課長がお話した通りなので重複は避けますけれども、いずれ工事の期間としては、今発注すると大体3か月位かかるそうなので、今年のシーズンオフになってクローズするまでは、今ある遊具で楽しんでいただきたいと思います。そして来年のシーズンからは新しいものになるということでございます。

説明する機会につきましては、今後また「太田地域を語る市民の集い」というものも11月に計画しておりますし、紙で出した方がいいのかということですが、そこはちょっと考えさせてください。よろしくお願いいたします。

○会長

支所を出している、地域版広報に色々な記事が載っているじゃないですか。あそこに、ちょっと載せておけばいいんじゃないですかね。「資材高騰により補正予算を組んで、時間がかかっているために、来春にならないとオープンできなくなりました」って。それでいいと思うんだけどな。

○支所長

わかりました。書き方としては、どちらかというと「来年度オープンするので、今年のシーズンオフになったら工事に入ります」という方が、ポジティブで良いと思います。

他に皆さんからなければ、私から最近の市の動きについて、ちょっとお知らせしたいことがあるんですが、よろしいでしょうか。

まず一つ、この前お話のあった保育園の統合についてです。この前の議会の際に、議員には説明があったようなんですけども、旧町村部の保育園を経営している大空大仙という社会福祉法人が、合併してから今までやってきましたが、非常に経営状態が危ないという状況です。まず市と一緒に経営改善計画を作りまして、その計画に則って施設の統合など

を行って、市の方から援助を受けながら続けていくという話が今出ております。確かこの前の新聞にも載っていました。

太田の保育園は具体的にどうなるのかということなのですが、現在は旧南幼稚園の「のびのび園」に3歳以上のお子さんが入っていて、0歳から2歳は旧太田保育園の「すくすく園」に入っていて、この二つを合わせて認定こども園という形でやっています。仙北も二つ合わせて認定こども園となっていますし、中仙も豊岡と長野に一つずつありますが、こういったところはそれぞれの地域で一つずつにまとめるという計画です。前回、太田の給食センターが中仙と一緒にあって、来年度から廃止になるという話をいたしましたけども、あそこが廃止になると給食自体は保育園で作らないといけなくなります。すくすく園には調理室がありますので、のびのび園を廃止して一つに統合するという計画が出ています。ただ、すくすく園も木造でだいぶ雨漏りもしているという話もあるし、鉄骨を使っているところは外側に錆びも見えてきているので、こちらとしても施設が大丈夫なのかどうか十分に吟味してからじゃないと難しいんじゃないかという話をしましたので、このままいくかはまだわかりません。

それに、統合となると、残った施設がどうなるのかという問題があります。どういう使いみちで活用していくのか、それとも完全になくすのかというのは、またその施設によって違うのでわかりませんが、そういう計画が議会の方では出ているところです。いずれこの5年くらいの間でかなり進んでいくと思います。原因としては、やはり子どもの数が減っているということ。そのため収入がないということ、だけど先生は一定数は確保しなくちゃならないので、そこら辺の収入と支出の乖離が広がってきたということです。それから施設がやっぱりどうしても古くなってきて、改修費がかかってきたということもあります。

それに対して、大曲では大曲保育会というところが運営していますが、あっちはやっぱり子どもが増えているんですね。それに、施設の中でも子どもたちがすごく密になっているところもあるので、こちらの方とは全然施設の面積が違います。大曲では基準の面積を最低限満たすくらいで経営しているんだけど、こちらはわりと広めにとっているものですから。親も仕事の都合で向こうに子どもを入れたいという人も多いので。そういうこともあって、大曲の方は経営が良い状態です。こっちと一緒にすると言われると無理って言われるので、そういう難しい面もあるようです。いずれそういう計画が出ていることを覚えておいていただければと思います。

あともう一点さっき補正予算の話でもちょっとしましたが、大曲駅の西口の近くに空き地がありますが、あそこの所有者は宮腰の本社だそうです。その土地をどうするかというのは、結構前から話があったんですが、その土地を利活用して行政施設も入れて、後は駅前の賑わいを含めて考えたら、マンションを建てるという話が出てきたようでございます。そのため今、商工会議所と大仙市と宮腰さんの三者で、利活用について検討するために、コンサルタントに基本構想を作ってもらおうということで市として500万円の負担金を出すと補正予算がついています。なので、これも市民の方でも知っている人は知っている、知らない人はまだ知らないという情報でありますので、議会でもできるだけ早く市

民に知らせた方がいいんじゃないかという提案があったようでございます。市の方としては、まだコンサルタントにお願いしただけの段階で、コンサルタントが色々な市民の声を吸い上げるということで今答弁しているようです。

そういった話題がありましたので、以上2点お知らせいたします。

○会長

それでは、他に皆さんから何かございますか。

(特になし)

それでは事務局の方から何かありましたらお願いします。

○事務局

はい、事務局からお知らせでございます。毎年行っております「太田分校レストラン」でございますけれども、今年度は10月25日に一回開催するということになりました。受付は10月7日の一日のみでございます。限定60食で1人3個まで、価格が850円ということになります。申し込みが多数の場合は抽選になるということでございます。広報の地域版に掲載しておりますので、ご確認の上よろしければご利用願います。なお、例年チラシを太田地域に全戸配布しておりましたけれども、分校さんの予算の関係でちょっとチラシが配布できないということもございますので、広報の地域版をご確認していただければと思います。よろしくお願いたします。

○会長

次回の開催はいつ頃になりますか。

○事務局

はい、今回は11月の中旬以降を予定してございます。会長の日程等を確認して開催したいと思っております。よろしくお願いたします。

○会長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了します。長時間に渡って大変ありがとうございました。

(午後11時22分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

高橋 英子

佐藤 隆康
